

第26回世界哲学会議

哲学：開かれた対話の場所

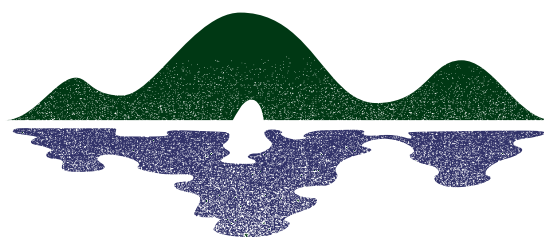
XXVI WORLD CONGRESS OF PHILOSOPHY

Philosophy: A Place for Open Dialogue

募 金 趣 意 書

第26回世界哲学会議大会組織委員会

THE XXVI
WORLD CONGRESS OF
PHILOSOPHY
TOKYO 2028



第26回世界哲学会議 募 金 趣 意 書

1 会議の名称

和文名：第26回世界哲学会議

英文名：XXVI WORLD CONGRESS OF PHILOSOPHY

2 主催

哲学系諸学会国際連合（Fédération Internationale des Sociétés de Philosophie, FISP）、日本哲学系諸学会連合、第26回世界哲学会議大会組織委員会

後援 東京観光財団、東京大学、京都哲学研究所（KIP）

3 会議の母体機関

哲学系諸学会国際連合（Fédération Internationale des Sociétés de Philosophie, FISP）

4 開催期間

2028年8月16日～23日（8日間）

開催場所 東京大学本郷キャンパス（予定） 住所：東京都文京区本郷7丁目3-1

5 会議の性格と目的

世界哲学会議（World Congress of Philosophy, WCP）は、哲学系諸学会国際連合（Fédération Internationale de Sociétés de Philosophie, FISP）主催の哲学研究者の国際会議で、近年では4～5年に1度開催されています。主な目的は3つあります。

- ① 世界中の哲学者同士の研究交流を促進すること
- ② 哲学教育を普及すること
- ③ 現在人類が抱えるグローバルな問題に哲学が寄与すること

主催団体FISPは、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の内部団体である国際哲学人文学会議（CIPSH）に所属しています。各回の世界哲学会議の開催地はFISPの総会で決定され、契約を交わした現地の組織委員会が運営を担当しています。

6 日本開催の経緯と意義

(1) 経緯

2018年のWCP北京大会で、日本哲学会が中心となり、初めての日本開催に向けて2023年のWCP開催地に立候補しましたが、FISP総会での加盟団体代表者による投票で、残念ながら落選しました。2023年に再度立候補を表明し、同年5月にはFISP年次運営委員会を東京大学で開催するなど、着実に準備を進めました。2024年8月に開催されたWCPローマ大会で、2028年のWCP開催地として東京への招致を行い、FISP総会ではエチオピア・アジスアベバとアラブ首長国連邦・フジャイラという他候補を抑え、東京が過半数の得票で選出されました。その後、

FISP運営委員会との協力のもと、WCP大会東京開催の準備を進めております。

(2) 日本開催に期待される役割

世界哲学会議は1900年にパリ大会で始まった、哲学を主題とする世界最大の伝統ある会議で、世界中から哲学研究者・学生が集い様々なテーマで議論を行う場です。国境や文化の枠を超えた知的交流を促進し、哲学から世界的課題への貢献を目指す点で、極めて重要な意義を持ちます。今回の会議は、混迷する国際政治・社会情勢、深刻化する地球環境問題、AIをはじめとする高度な科学技術との共生、経済格差や心の問題の深刻化を見据えながら、あらゆる立場の人々が同じ場に集い対話を重ねることで、人類と世界の未来を改めて徹底的に考えることを目指しています。日本はどの文化や宗教や政治背景にも開かれた場所として、哲学の対話を促す絶好の位置にあります。その可能性と責任を認識し、世界平和と幸福に貢献することが哲学者の役割です。

(3) 日本開催が持つ特長

日本・東京で世界哲学会議を開催することには、世界にとっても日本にとっても、学術的・社会的に大きな意義があります。日本開催は、次の3つ特長を生かしていきます。

① 文化伝統の開かれた場所：日本は縄文弥生以来の文化が中国やインドから伝来した仏教や儒教などの文化と融合し、さらに西洋文明を取り入れることで、独自の文化と哲学の伝統を作ってきました。多様な思想が対話し融合してきたこの伝統こそ、開かれた対話を行う上での最大の強みです。日本で近年展開している「世界哲学」は、それを世界に向けてアピールする試みとして、内外で高く評価されています。

② 高度な社会モデルや倫理：経済・科学技術の発展が世界規模でもたらしている多様で深刻な問題をめぐり、高い技術力と安定した社会を実現した日本での大会開催は、人類共通の課題に世界の人々が共同で議論する絶好の機会となるでしょう。日本における先端科学技術との「共生」が新たな社会モデルとなることや、日本が長年取り組んできた「平和」の思想と教育が、紛争解決のための対話を促すことが期待されます。伝統的な「風土」概念など、世界的な視野で人間に寄り添う倫理の構築に貢献します。

③ 日本の高度な学術・文化：日本がこれまで培ってきた高いレベルの学術・教育の蓄積を世界に向けて発信し、日本国内の研究者や学生が世界に開かれた問題意識を持つ活性化を促進します。また、学術界にとどまらず経済界や政界や社会のさまざまな人々が哲学の議論に加わることで、哲学を基盤にした新たな世界に向けて、活発な議論が行われます。大学生だけでなく高校生や一般人も哲学の対話に加わることで、根源的な思考が日本社会に根付いていくことが期待されます。これらの特長を活かし、世界哲学会議では世界中からの参加者との対話が行われます。

7 会議計画の概要

(1) 会議の構成

本会議は「哲学：開かれた対話の場所」という全体テーマを掲げ、その下に5つの主要テーマにおいて、それぞれ1つのプレナリーセッションと2つのシンポジウムにおいて、世界の代表的哲学者を招待して基調講演をしていただきます。また、81の個別テーマをもうけ、哲学研究者が個人発表（査読付き）を行い最先端の研究を議論します。それらに加えて、寄附講座講演、ラウンド・テーブル、招待セッション、関連学会主催セッションを開き、学生が参

加するセッションを設けます。また、関連する公開シンポジウム（一般向け、日本語）や文化行事を企画しています。

(2) 5つの主要テーマ

- ① 【哲学】哲学のさまざまな方法（哲学の古典と哲学教育、方法論）
- ② 【場所】風土と生（美と崇高、自然、持続可能性、応答）
- ③ 【開かれた】内包と排除（分断化する時代における自由、科学、民主主義）
- ④ 【対話】平和と対立（尊重と蔑視、沈黙）
- ⑤ 【世界】普遍性と文化の個別性（ジェンダー、翻訳）

(3) 日程表（現時点での予定）

	午前	午後	夕方
8月16日	招待講演、シンポジウム等	開会式	文化行事
8月17日	招待講演、シンポジウム等	招待講演、シンポジウム等	公開シンポジウム
8月18日	招待講演、シンポジウム等	招待講演、シンポジウム等	文化行事
8月19日	招待講演、シンポジウム等	招待講演、シンポジウム等	公開シンポジウム
8月20日	FISP総会、学生セッション	FISP総会、学生セッション	文化行事
8月21日	招待講演、シンポジウム等	招待講演、シンポジウム等	文化行事
8月22日	招待講演、シンポジウム等	招待講演、シンポジウム等	公開シンポジウム
8月23日	招待講演、シンポジウム等	閉会式	

(4) 会議使用言語

英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、中国語、アラビア語、日本語

(5) 参加予定国

日本、韓国、中国、インド、トルコ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス、ロシア、米国、メキシコ、ブラジルなどを中心に、約100の国と地域

(6) 参加予定者数

国外 4,000人（外同伴者 100人）

国内 1,000人

計 5,000人（外同伴者 100人）

(7) 会議プロシーディングス

会期後に刊行し、各代表機関及び参加者に配布します。

(8) 展示

出版物や関連する展示を予定しています。

8 経費の調達および寄附金を必要とする理由

本国際会議には、海外から約4,000名、国内から1,000名ほどの参加が期待されており、開催の準備と運営に関する経費は総額305,000千円にのぼる見込みです。全体で5,000名にもなる参加者が十分な発表と議論を行うためには、かなりの規模の会場を用意する必要があり、目下、東京大学本郷キャンパスを中心に会場計画を策定しています。レセプション代を含め、会場費は10,200千円に達すると推算されています。また、アジア、アフリカ諸国からの参加を促進するために、学生や、通貨価値の面で不利な条件にある諸国の研究者には渡航費・滞在費について援助を行う予定です。

本会議は日本学術会議との共同主催を申請予定であり、すでに東京観光財団からの助成金が決まっています。しかし、参加登録料と予定される援助だけでは会議の運営が難しいのが実状であり、必要経費の一部を諸団体・個人の浄財からのご援助に頼らざるを得ません。大会運営に要する予算総額305,000千円の内、参加登録料、助成金、出展広告料等を除く76,000千円を寄附金によって充たしたいと考えています。この世界哲学会議を成功させるために、何卒ご支援をお願いいたします。

予算（2026年2月現在）

収支区分	金額（千円）
（収入）	
1. 自己負担金（参加登録費等）	133,875
2. 助成金／補助金等	95,800
3. 寄付金／協賛金等	76,000
収入合計	305,675
（支出）	
1. 会議準備費	226,735
2. 会議運営費	69,800
3. 展示会費	7,500
4. 募金経費	640
5. 事後処理費	1,000
支出合計	305,675

寄 付 金 募 集 概 要

趣旨にご賛同下さり、ご協力いただけます場合は以下の方法でお願いいたします。

1) 寄付金使途：第26回世界哲学会議の開催資金

2) 募集期間：【2026 年 3 月 1 日から 2028 年 8 月 15 日まで】

3) 募金総額：76,000,000 円

4) 寄付金申込先

お手数ながら別紙寄付申込書にご記入の上、下記宛にメールにてお送りくださいますようお願い申し上げます。

第26回世界哲学会議組織委員会事務局

E-mail：secretariat@wcptokyo2028.com

5) 寄付金のお支払い方法

お支払いにつきましては申込書をご送付の上、下記口座にお振込願います。

銀 行 名： 三井住友銀行（0009）

支 店 名： トランクNORTH支店（403）

口座種別： 普通

口座番号： 0237330

口座名義： 特定非営利活動法人 世界哲学会議推進会

フリガナ： トクビ センツカガカイシスシカイ

※お預かりした寄付金は、第26回世界哲学会議の寄付金窓口である特定非営利活動法人世界哲学会議推進会による適正な会計管理の下、本会議またはこれにかかわるイベントなどの運営へと充当されます。

6) 税法上の取り扱い：特定非営利活動法人世界哲学会議推進会は特定公益増進法人の認定に向けて準備を進めておりますので、税法上の取り扱いについては事務局までご相談ください。

第 26 回 世 界 哲 学 会 議

寄付申込書

第26回世界哲学会議事務局宛

E-mail secretariat@wcptokyo2028.com

年 月 日

第26回世界哲学会議の事業に賛同し、
下記金額を寄付金として申し込みます。

金 円也

※本申込書を送付の上、下記銀行口座宛にお振込みをお願い申し上げます。

振 込 先

銀 行 名 : 三井住友銀行 (0009)
支 店 名 : トランクNORTH支店 (403)
口座種別 : 普通
口座番号 : 0237330
口座名義 : 特定非営利活動法人 世界哲学会議推進会
フリガナ : トクビ セイツカクカイギスシンカイ

御芳名又は法人名 _____

御 住 所 〒 _____

御 担 当 者 _____

T E L . _____

F A X . _____

E-mail. _____

振込予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

【情報公開につきまして】

寄付金に関して以下の情報をウェブサイト等で公開してよろしい場合はチェックしてください。

☐ 御芳名又は法人名 ☐ 寄付金額